

**被災建造物の復旧性能評価研究委員会**  
**H18年度 第3回 拡大幹事会議事録(案)**

日時：2007年3月14日(水) 17:00～18:30

場所：日本コンクリート工学協会 11階会議室

出席者：白井(委員長)、衣笠(幹事)、河野(幹事)、小林(幹事)、林(事務局)、田嶋(記録)、  
以上6名

**資料**

- No.K-18-3-0 H18 第2回拡大幹事会議事録(案)
  - No.K-18-3-1 委員会報告目次 原稿進捗状況
  - No.K-18-3-2 H18 第10回「復旧性を考慮した耐震設計法 WG1」議事録
  - No.K-18-3-3 H18 第9回「補修・補強後の性能評価 WG3」議事録
  - No.K-18-3-4 被災シンポジウム予算案
  - No.K-18-2-5 <被災構造>参加募集会告案
- ※その他、各WG担当分の報告書ドラフト原稿あり

**議事内容**

**1. コンクリート工学年次大会2007(仙台)における「委員会報告」のお願いについて**

白井委員長より、本年度 JCI 年次大会における委員会報告に関して、展示パネル4枚と論文集掲載原稿に関する提出期限等が示された。本件について議論した結果、それぞれ以下のスケジュールで作業を行うことになった。

- (1) 展示パネル4枚 締切り：5月16日(木)、展示：7月11日(水) 12:30～13:30
  - ・各WGにおいて4月20日(金)までにパネル1枚分のデータを作成し、田嶋委員に送付。
  - ・田嶋委員が集まったデータを取りまとめて、4月中に作業を終える。
- (2) 論文集掲載原稿(4～10の偶数頁) 締切り：4月20日(金)
  - ・各WG幹事がWGでの活動を原稿1～2枚にまとめ、原稿を中村副委員長に送付。
  - ・中村副委員長が集まった原稿を取りまとめて締切りまでに提出。

**2. 各WG委員会報告書原稿の進捗状況の確認**

**<WG1>**

- ・「5.3 復旧性を考慮した耐震設計の枠組み」に関して、目次を以下のように変更した。
  - 5.3.1 復旧費用と復旧時間に基づく耐震設計方の枠組み
  - 5.3.2 復旧費用・復旧時間の推定の考え方「包括的な解説」
  - 5.3.3 復旧費用推定の具体的な手法
  - 5.3.4 復旧時間推定の具体的な手法

- ・以下の節を除く原稿は提出されており、その完成度はほぼ 100%である。
  - 2.1.2 道路構造物（岡野委員）
  - 5.2.1.1 土木（牧委員，中村副委員長）
- ・資料として、「米国基準・指針作成機関一覧」が提出されているが、この報告書内での位置については、全体のバランスを見て調整する。
- ・全体の書式や一部の図が不明瞭な点は今後修正を行う。

#### <WG2>

- ・以下の節を除く原稿は提出されており、その完成度はほぼ 100%である。
  - 3.1.2.1 国内（国内耐震診断基準，被災度区分判定など）（田才委員）
  - 3.3.1 建築（北嶋委員）
- ・「3.3.2 土木（岡野委員）」に関しては、原稿の作成が困難であるとの申し出があったため、目次案から削除することにした。これに伴い、「3.3 損傷制御」における建築・土木の細分化はなくなり、北嶋委員の原稿が「3.3 損傷制御」の原稿になる。
- ・建築の場合と異なり、土木の場合は損傷評価の事例紹介が中心となるため、原稿の作成が難しいケースが多く、WG2の内容は建築に関するものが多くなっている。この点についても、章のはじめで触れておきたいと考えている。
- ・目次案に関して、細かな章・節・項番号の調整を行う予定である。

#### <WG3>

- ・「4.4 補修後 RC 柱の動的挙動に関する検討」に関して、目次案を以下のように細分化した。
  - 4.4.1 補修後 RC 柱の動的挙動に関する検討（ファイバー解析）
  - 4.4.2 補修後の剛性低下を考慮した 5 層建物の動的挙動に関する検討
- ・以下の節を除く原稿は提出されており、その完成度はほぼ 100%である。
  - 4.3.3 部材モデルを用いた補修後 RC 柱の検討（小林幹事）
  - 4.5 補修構造物の性能評価における今後の課題
- なお、4.3.3 に関しては、必要な解析は全て終了しており、原稿のとりまとめをしている段階である。また、4.5 に関しては、WG 内の原稿が揃った段階でいくつかの問題点を集約する箇所であるため、これから原稿を作成する。
- ・付属資料として鋼材のひずみ除去事例が提出されており、この位置づけについては全体のバランスを見て判断する。

#### <その他>

- ・「1.3 キーワード」に関して、まだ原稿が提出されていないため、担当の中村副委員長に早急に原稿の作成をお願いします。また、委員会の活動として収集したキーワード集に関しては、その掲載箇所に関して今後検討する必要がある。
- ・資料として「復旧性を指標とした耐震設計例」を作成する予定であったが、現状において、このような設計例を作成するには到っていない。

- ・委員会内における原稿の最終締切りを「3月23日（金）」とする。

WG 主査がそれぞれの WG 内の原稿を集め、WEB を介して随時田嶋委員へ送る。田嶋委員は全ての原稿を集約し、それを事務局の林さんに送付する。林さんは、送付された原稿を3月26日（月）の全体委員会の資料として準備する。

### 3. シンポジウムについて

白井委員長より、本委員会のシンポジウムに関して説明が行われた。以下に概要を示す。

- ・開催日は8月1日（水）で決定した。会場は日本大学理工学部1号館会議室（御茶ノ水校舎）。
- ・FS 委員会では午後からシンポジウムを開催したが、今回は報告内容が膨大なため、午前中から開催する必要があると思われる。
- ・委員会活動の報告では、各 WG3 名（主査、建築1名、土木1名）に発表をお願いしたい。
- ・シンポジウム開催のための予算シミュレーションを事務局で行ってくださっているが、予算的に成立するためには、50名参加で会費1万円程度の設定になる。
- ・参加者を増やすための広報活動を行いたいと考えており、会告（5月号～）だけでなく、JCIのHP上での告知や本委員会HPでの告知（ここでは報告書の目次を公開）、電子情報化委員会が発行するメールニュースへの掲載、シンポジウム開催案内ポスターの作成などを行いたい。目標参加人数は100名である。
- ・会費に関しては今後検討する必要があるが、例えば大学院生など学生の参加が容易となるような金額設定ができればよい。
- ・基調講演に関しては、建築側では白井委員長が候補者を選考中である。土木側からは中村副委員長に候補者を選定していただき、3月26日（月）の全体委員会に諮っていただきたい。

### 4. 次回全体委員会の開催について

- ・全体委員会：3月26日 16:00～ 今後の打合せ（シンポジウムなど）

以上